

米沢興譲館同窓会 東京支部

同窓懇親会のご案内

平成23年7月9日(土)

総 会:15:00~15:30 講演会:15:30~16:20 懇親会:16:30~19:00

ホテルニューオータニ

本館:おり鶴 悠の間・舞の間 (アーケード階・地下1階)

〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 tel. 03-3265-1111

会 費 ￥10,000

謹啓 ふるさとの山や川にも若葉青葉をわたる風が快く感じられるころとなりました。
興譲館同窓の皆様には、多方面にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

3月に起こった未曾有の大震災・津波で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、恒例の当会東京支部同窓懇親会を今年も上記要領で開催致しますので、お誘い合わせの上、ぜひご出席下さいますようお願い申し上げます。

懐かしい顔・同窓の仲間と、あの時のこと、あの頃のことを久しぶりに心ゆくまで語りあえば、日頃のストレスも吹き飛ばすはずです。また、新たな人脈を広げる絶好の機会でもあります。お忙しいとは思いますが、ぜひのご参加をお待ち申し上げます。

なを、ご欠席の方に毎年支部運営協力金として¥2,000の送金をお願いしております。昨年も多くの方のご賛同を頂きました。誠にありがとうございます。通信費ならびに会場費等、有意義に使わせて頂いております。

7月9日(土)支部同窓会懇親パーティー並びに支部運営協力金の趣旨をご理解頂きたく、何卒よろしくようお願い申し上げます。 敬 具

米沢興譲館同窓会 東京支部
支部長 神野 民夫

● 総会：決算・会務報告、来賓ご挨拶：母校校長先生、同窓会会長

● 記念講演会

演 題 『光を用いた生体計測』

講 師 山田 幸生 国立大学法人電気通信大学教授 (興譲館昭和41年卒)

〈プロフィール〉東京工業大学卒、工業技術院 機械技術研究所を経て現職。
最新技術による「採血なしで血糖値測定」等の研究で活躍中。

● 懇親会：第1部で大いに情報・名刺交換を、第2部では旧交を温めて下さい。

※昨年、米沢からご来賓の皆様

米沢市市長 安部 三十郎 様 母校 同窓会会長 高野 讓 様
米沢興譲館高校 学校長 佐藤 広明 先生 母校 体育文化後援会会長 土澤 幸雄 様

※他校同窓会からもご参加頂いています。

● 記念講演会:15:30~16:20

演 題 『光を用いた生体計測』

講 師 山田 幸生 国立大学法人 電気通信大学教授
(興譲館昭和41年卒)



PROFILE

- 1948年(昭和23年)1月 米沢市に生まれる
- 1965年(昭和41年)3月 米沢興譲館高校卒業
- 1970年(昭和45年)3月 東京工業大学理工学部 卒業
- 1973年(昭和48年)3月 東京工業大学大学院機械工学専攻 修士課程 修了
- 1974年(昭和49年)4月 工業技術院 機械技術研究所 入所
- 1983年(昭和58年)1月 工学博士(東京工業大学)「高温対流伝熱系のふく射による伝熱促進」
- 1983年(昭和58年)7月~1984年(昭和59年)8月 カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員
- 1998年(平成10年)5月 工業技術院 機械技術研究所 基礎技術部長
- 2001年(平成13年)4月 電気通信大学 教授 現在に至る

2006年11月24日
日本経済新聞(朝刊)掲載

【講演概要】

赤に近い赤外線である近赤外線(近赤外光)は、生体を透過し易い。また、酸素の多い動脈血は鮮紅色で酸素の少ない静脈血は暗赤色である。

最新の技術によりこれらの特徴をうまく用いると、生体内部の血液の情報を断層画像として描き出すことができる。

この技術は、生体内の光伝播現象の理解を基盤としており、これを応用することにより、難しいと言われている光による血糖値測定を実現する可能性が見えてきた。

米沢興譲館同窓生の皆様に最新の科学技術の世界を知って頂ければ幸いです。

採血なしで血糖値測定

電気通信大学、松下電工などの共同研究チームは、針を刺して採血する負担なしに、血糖値を測定できる新技術を開発した。近赤外光を腕に当てる手法なので、一日に何度でも簡単にチェックできる。課題だった

電通大など腕に光、誤差克服

光は波長千三百ナノメートルは十億分の二、千七百ナノメートルは十億分の三、その時々体内の糖の濃度は千分の一、千分の一の波長の光を吸収する性質があるため、前腕部に光を当て、体内から戻ってくる反射を検出し吸収度合いを調べることでグルコース量を割り出す。従来、近赤外光を使う手

夢の新技术開発に成功。